

多 づ くり

題字  
相田コマ  
初代女性部長

女性部だより

調布市商工会女性部

〒182-0026  
調布市小島町 2-36-21  
TEL:042-485-2214

## 気候変動と二極化



女性部長 大竹 勝子

た。売上げを後日（十二日）調布市役所、社会福祉協議会へ、加藤副部長・美野副部長と石井委員とでお届けすることが出来ました。

十二月に忘年会を渡部会長、横田事務局長、山口様、松村様両相談役に参加して頂き、明るく楽しい時間をすごしました。

調布探訪では深大寺張堂住職様のご講和を頂き、お参りすることが出来ました。

四年もの長かった新型コロナ時代も完全に終結したわけではないが、マスク着用も薄れつつある。外すとすると忘れものしたかのような気分がおそろしいです。

女性部の事業もようやく春の多摩川クリーン作戦をスタートに共同募金事務協力、日帰り研修会に神奈川県総合防災訓練センター視察、十月八、九日には商工まつりが盛大に開催されました。女性部も久々にふみ焼きとバザーでの参加やおたのしみ抽選会のお手伝いすることが出来まし

二〇二四年元旦幕開けと同時に石川県能登、輪島市の大地震と羽田空港の飛行機事故、予震がまだ続き、日に日に被害拡大のニュースを目の当りにし、心が痛いです。地元の方々のライフラインがなかなか進まずにいるところ、全国的に大雪のニュースです。

二月一日女性部新年研修会・懇親会を開催しました。研修会には調布警察署生活安全課より島田様を講師にお招きする事が出来、調布市がオレオレサガが多いとのことで被害にあわない対策をしましょうと語りかけ。注意の一番は、犯人からの詐欺電話は、九割以上が自宅の固定電話に多いとのこと。キャッシュカードをだまし取る巧妙な手口も要注意な点いろいろ勉強になりました。ありがとうございました。

懇親会は渡部会長、長友市長、横田事務局長、山口様、松村様両相談役をお迎えして、渡部会長、長友市長よりお祝辞を頂くことが出来ました。

長友市長のお話の中で、そう遠くない未来、市役所が変貌、すべての手続がいつでもどこでも申請可能なバーチャル市役所が実現するとのお話を耳と目とでうかがうことが出来、

ありがとうございました。  
この原稿を書いている今は、二月四日の立春がすぐそこ。  
ここ何年かの気候変動には目まぐるしいものがある。

世界が二極化に自由でフラットな社会に大きく変わろうとしている。又、カンバツ、水害、エルニーニョ現象で海水温が変わったりと、世の中の変わり様に女性部も変化あり、前進ありとありたいものです。

二月一日の新年研修会懇親会で受付に石川県能登、輪島市への応援災害支援の募金箱を置かせて頂きました。皆様のご協力ありがとうございます。心から感謝申し上げます。一日も早い復興を祈るばかりです。



## 第三十八回 通常部員総会



日 時…令和五年四月二十日  
会 場…総会 商工会館三階

部員総数…本人 三十名  
委任状 一〇二名

計 一二二名

来 賓…七名  
議 案

第一号議案…令和四年度事業報告並びに収支決算

第二号議案…令和五年事業計画並びに収支予算決定について

以上の議案が上程され、各議案とも可決されました。なお、総会終了後に懇親会が行われ、和気あいあいと部員同士の懇親を深めました。



### 多摩川クリーン作戦(春)

四月九日(日)好天に恵まれ、早朝多摩川河川敷に女性部部員が集合いたしました。いつものようにたくさんの調布市内の団体とともにゴミ袋と道具を手にスタートです。

年々河川敷を利用する方々のゴミに対する意識が向上しているのか、思いのほかゴミが減少しているようです。綺麗にしているところは汚すことが出来ない。そんな相乗効果があるのでしょうか。

そのためにも毎年春、秋のクリーン作戦はとても大切なことだと思えます。女性部も毎回参加するこ

とで自分自身の意識も高まり、使用する皆さんの意識も高める事に繋がると思えます。

自分達の街は自分達で美しくする！そんな思いでこの行事に今後も参加出来ればと思っています。

美野 ひろ子



### 関東ブロック商工会 女性部交流研修会

例年と違う猛暑の夏、令和五年七月二十日立川集合のバスに乗り関東ブロック商工会女性部交流研修会が開催される茨城県へ向かった。ザ・ヒロサワシテイ会館で電車で来館した二人と合流し調布からは四人の参加。着くなり東京代表西東京商工会の鱒淵静江さんの応援練習。オーピングは茨城県立大洗高等学校の

合唱で交流研修会が始まった。商工会女性部の誓いの言葉・歌を唱和。主催者挨拶、来賓祝辞を終えて開会式のセレモニーは終わった。特に印象に残った大井川和彦茨城県知事のご祝辞、なんでもあるがこれと言う売りが無い魅力度最下位の茨城県へようこそ。魅力の溢れる茨城県に女性の感覚で、「やればできる」の底力を出して頑張ってくださいと笑いを誘うお話は、緊張を取り除き会場が笑顔になった。

いよいよ各県連代表の主張発表です。休憩をはさみ十一名の発表はいずれも女性部活動が地域や街づくりに貢献し女性部員の共感を得て模範となる活動を続けている。中にはたいへん説得力があり、分かりやすく表現力が豊かで、しつかり練習を積まれた素晴らしい発表をされた方もおられた。

神奈川県伊勢原商工会の大山参り、おもてなし交流。名物の豆腐と鳥肉でおからナゲットを開発した。ご神木の山を守っている林業の町、長野県上松商工会。微々たる活動だがキッチンカーで百円メニューを百食つくりほどよい収益を児童養護施設に寄付をしている。東京都西東京商工会は、障害のある息子さんを通してバリアフリーのお話。子供たちのふるさとを頑張つてつくると力強

く発表。私も地域に無くてはならない輝く女性部でありたいと強く感じました。

生涯現役、地域に前向きな精神で、干し芋どら焼きで教育委員会に寄付をしている群馬県みどり市商工会。自分のふるさとを自慢にできるよう里山づくりの活動をと、山をまわること整備して町が一丸となってまちづくりをしている千葉県鋸南町商工会。スマートホンを使い町の魅力を発信している静岡県岡部町商工会。デコパージュやアロマストーンを作り販売し売上でウクライナを支援し、歩みを止めることなく地道な活動をしている栃木県那須商工会。花の種を植えて出来る事から始めようとフラワーアレンジメント等でお花の癒し効果で地域にかかわろうとしている山梨県坂東市商工会の様子は、映像が浮かんでくるような発表だと講評された。

一位になった魅力度最下位の茨城県坂東市の魅力を探し街づくりの為にリーダー研修会を重ねて、町を歩き近隣の皆さんと情報交換して防災マップを制作した。まちを楽しみ、人を楽しみ仕事を楽しむ持続可能な活動をしていきたいと力の入った発表だった。

私が一番心に残ったのは、新潟県清里牧商工会の雪国ならではの、粘

り強さはあるものの合併した町で人数も少なく、それにより一つの事業をやるむずかしさ、ぎこちなさを感じた。

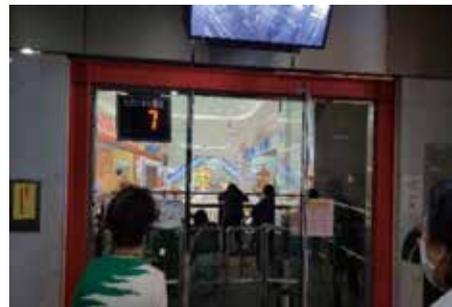
二日目の最初は藩士とその子弟の教育のために創設された藩校、文武両道の総合的な教育施設の弘道館です。水戸城二の丸に建設され、梅を愛した斉昭は数多くの梅を植えた。春の魁として咲く梅の花は詩歌の良いい題材となり、また梅干しにして軍事や飢饉の際の非常食となることから実用を重んじて領内に広く植樹を奨めた。弘道とは何ぞや。人能く道を弘むるなり。素晴らしい言葉だと思いませんか。

かねふくめんたいパーク大洗、那珂湊おさかな市場で、一杯にお土産を買い求め、重たくなったバスは一路出発地立川へ。たいへん意義のある研修会だったと思いつつ帰途についた。

加藤 みち子



## 日帰り研修会



令和五年九月一日、関東大震災から一〇〇年目となったこの日に、防災意識が高まる日帰り研修会を行いました。

いろいろな体験ができる【神奈川県総合防災センター】に到着し、館内に入ってまず目を引いたのが、東日本大震災で記録された津波の高さを表したタペストリー。最高は、福島県相馬市の九・三メートル。戸建て住宅の三階にまで到達する高さです。この高さだと、高台に上がらないと回避できません。

テレビや動画で津波の高さは耳にしていますが、いまいちピンと来ていませんでしたが、実際にその高さを確認し、言葉を失いました。

そして、東日本大震災で宮城県栗原市で観測された震度七を体験。被災場所は、大型商業施設に設定されていました。縦にも横にも揺れている地震が起きている間は、立っていることは疎か、その場にしゃがんでいても固定されているものにつかまっていけないと、体が移動してしまふほどでした。店舗のディスプレイも崩れ、商品が通路に飛び出てきたり、開けた場所においても、どこからか物が飛んでくる危険を感じました。

朝一番でこの地震の体験をしたせいか、みんなグッタリした様子で次の強風体験へ。ここでは最大風速三〇メートル/秒を体験しました。息をするのも苦しいくらいの強風でした。大型台風となると、ここに雨も合わさるため、外出の危険度を体感しました。

その後も、ちよつとレトロな映像を見ながらの消火器体験、火事が起き、煙が充満している建物からの脱出体験をしました。火事の起きた建物からの脱出時は、煙のせいで周りが見えず、迷子になる可能性があることを学びました。いくつかのグループに分かれて、入口から入ってゴールの出口を目指すのですが、煙で自分がどこにいるか分からなくなり、入口から出てくるグループもあり

りました。

そして、ここでは、タオルやハンカチなどで口元を覆い、姿勢を低くして煙を吸わないようにする注意点を学びました。前かがみで歩いていたらつもりですが、「甘いニオイを感じた方は、煙を吸っちゃってます」と言われ、それを感じた私は、もつと姿勢を落とさないといけないことを教えられました。火事になった際、パニックになってしまうと、とにかく早く外に出るために、姿勢を低く保つことを忘れそうです。

最後に風水害のミニシアターを観ました。自分が住んでいるところの災害ハザードマップや避難場所の確認をしておく。それだけでも万が一の時に役に立ちそうです。

まずは、自助（自分の身を守る）を優先し、余裕があれば共助（まわりを助ける）をして、みんなで助け合って避難をする。一人ひとりの知識と行動が大切だと教えていただきました。

次に向かったのは、横浜中華街。美味しい中華料理をたっぷり食べ、お腹になりながらも、お店を出た後に中華まんを頬張り、お土産のお菓子を並び、最後の赤レンガ倉庫でもシャープレットを食べました。

午前中、たくさんさんの体験をしたので、午後はご飯もデザートも美味し

くいただきました！帰りはどうとしながら、エネルギーチャージをして、調布に無事到着しました。

帰宅後、家の中を見回して、背丈より大きい棚を固定する突っ張り棒を購入しました。あとは、災害時持ち出しバッグの中身や非常食の確認をしました。

食事と衛生面が避難生活では大きな問題となるようです。いつ大きな災害が来てもおかしくない昨今。皆さんも、防災を意識しながら、有事の際の準備を忘れずに。

井手籠あゆみ



## 共同募金事務作業協力



暦の十月になると全国一斉に、共同募金があります。昔は駅前や商店街等の人が往来する場所で、赤い羽根運動により募金を集めていました。今ではその光景は見かけられず、テレビの国会中継などで総理大臣、四、五人の議員さんが、赤い羽根を付けているのを見る程度になってしまいました。面影は残っているものです。

近年は自治会が中心になって家々に募金を募る様になってきました。そこで各自自治体にお願する説明の資料を配る準備を、商工会女性部が毎年お手伝いしております。

令和五年九月五日（火）に社会福祉協議会館にて部員九名で、資料

セット作業を行いました。皆さん手ぎわ良く地域に配布出来るように束ねて支分けしていきます。午後四時頃無事に作業終了、役割をおえしました。自治会の皆様に御協力を、お願いするだけです。

白井嘉奈子

## 商工まつり飲食物販 ふみ焼き



令和五年度の『調布市商工まつり』は十月八・九日に、調布市庁舎前広場・たづくりむらさきホールで開催された。初日は抽選会場のお手伝い。末等でもカップ麺や袋菓子がもらえるとおあって、行列が出来るほど賑わっていた。二日目はあいにくの雨だったが、バザーは商工会館内で決行。メイン会場から離れていたが、大きな買い物をして喜んでいらっしゃるお客さんもいた。

さて名物の「ふみ焼き」。まずは

相田師匠の模範演技。秘伝のタネをお玉にすくい、クレープ状に満月を作る。スナップを効かせた右手から、キャベツ・紅ショウガ・天かすが調布花火大会よろしく、見事に同心円状に放たれる。直ぐに鉄板に卵を落とし、これまた見事なマーブルとなり、ヘラをサツと卵の下に潜り込ませ間髪を入れず頂上に載せる。返すヘラで満月を折り返しあつという間に半月となる。うまい具合に熱が入り、卵が染みてゆく。しつとりしたキャベツとサクサクの天かす、パンチの効いた紅ショウガと甘みのあるソースが秘伝の生地にもまれ完璧な「ふみ焼き」となる。

次は私の番。市販の「誰でもカンタン、ふつくらホットケーキ」だつてまさかの固いクレープになってしまふ。できる気がしない。しかし、初めてにしてはなかなかの出来だ。右手のヘラで師匠の視線をドヤ顔で誘導する。そこに「最初はしようがないわよ」と目で慰められ、失敗であつたことを悟つたのであつた。

名誉挽回、毎年調布駅伝で私のチームと最下位争いを繰り広げる永遠のライバルであるプロレス選手たちが来店し大量注文。彼らにできる女をアピールしようと、腕まくりをし、一歩前が出る。しかしここでまさかの選手交代を視線で告げられ、

あえなく撃沈。師匠の後ろで材料補給にまわる。一個のふみ焼きで満足していた私の前で、師匠は四つ、五つ同時に、しかも美しく焼いているではないか!! こうして貴重な初体験の一日は終わり、来年へのリベンジを誓って帰途についたのであつた。

皆さん、ぜひ来年は私の「ふみ焼き」を食べに来てください。えつ、要らない? まあまあそうおっしゃらずにご来店ください! お待ちしています!

浜中 由美

## 商工まつり チャリティーバザー



商工祭り二日目(十月九日)。毎年大好評、女性部主催のチャリティー

バザーが開催されました

去年は市役所前広場から長蛇の列ができ、テーブルにてんこ盛りになされた商品が飛ぶように売れ、お客様からは「良い品がたくさんあって選ぶのが楽しい。来年も楽しみにします。」と嬉しいお言葉を頂きました。よし、今年もたくさん売りたい! と気合い充分で準備を進める中、何やら不穏な空気が漂い始めました。

そう、それは天気。

なんと、十月九日、雨の予報が出ていたのです。そして、なんとなんと! その予報は的中! 当日は朝から土砂降りの大雨になってしまいました。これは中止か? と肩を落とす中、石井委員長の大号令が発せられ急遽、会場を商工会館三階へ大移動。手際よく新たな役割分担がされ、後は現場判断で、と申し渡されました。そこは腕に覚え有りの女性部員! 「では、よろしくお願います!」と、朝礼が済むや否やそれぞれの持ち場へパツと散って行きました。

私は、本来の開催場所であつた市役所前広場で場所変更のご案内、新しい会場へマイクを使って誘導する担当でした。雨混じりの冷たい風が吹く中、先週末までは熱中症にご注意下さいなんて言つたのにねー、誰も来ないかなーなどと言いつている

うちに、ちらほらと人が集まるではないですか!

結局、何やかやと最後まで人は途切れる事はありませんでした。去年のような大盛況にはほど遠い動員でしたが、やはり楽しみにしてくださっている方がいるのだな、と嬉しくなりました。

そして、非常事態でも臨機応変、抜群の行動力を発揮した各部員。手前味噌になりますが、さすが調布市商工会女性部! 最後まで立派にやり終えました!

皆様、お疲れ様でした!

鈴木 あゆみ



## 商工会女性部全国大会 inしずおか



今年の全国大会、主張発表大会は、十月十八日（水）、静岡県のコンベンションアーツセンターにて、「ふじのくに静岡から、今こそ笑顔で発信」をスローガンに二千二百人が集まりました。

テーマは、①女性部活動に参加して ②女性部活動と地域振興 発表時間は一人十分、審査は女性部員の担い手となる活動であるという観点から、内容、構成、表現力、態度により採点し、総合点をもって順位を決定します。六ブロック代表だけあって、皆、原稿も読まず、表現力豊かで、きっちり十分で終わらせ、

内容も素晴らしいものでした。

近畿ブロック・京都府南丹市は、「コラボレーションで個性輝く「未来づくり」 中国・四国ブロック・香川県直島町は、「女性部で四十年間続けている町民電話帳」 中部ブロック・富山県南砺市は、「世代を超えてバトンをつなぐ地域の人にアマチャヅルの大判焼きで恩返し」 東北・北海道ブロック・宮城県みやぎ仙台からは、「地域の特性を生かした私たちの強み」 関東ブロック・茨城県坂東市は、「まちを楽しみ、ひとを楽しむ」持続可能な女性部へ」

そしてみごと、最優秀賞に輝いたのは、九州ブロック・長崎県対馬市、「女性部から学ぶ、島の子供たちとのふれあい」です。対馬のひまわりおばあちゃんと子どもたちから呼ばれる小川博子さん、市内で集めた、ひな人形の展示イベントや、観光名所・万関橋近くに三千本のひまわりを植えて、写真撮影してもらおうイベントに取り組み、子どもたちとのふれあいを七十七歳にしてはきはきと語っていました。最後は、替え歌で「ひまわり三千本！」と歌い上げて締めくくり、とても感動しました。

次の日は、島田市の牧之原台地の大自然の中にある、「ふじのくに茶の都ミュージアム」に行き、お茶

のセミナーでは、静岡の深蒸し茶と、和紅茶を飲みました。お茶の温度が低いと旨みが強く、高いと渋み、苦みが強くなり、深蒸し茶は低い温度で、和紅茶は高温でもよく、勧められてミルクを入れたら、とても美味しかったです。そのあとミュージアムでは、お茶の文化や歴史、展示などを見学しました。

この二日間、静岡県側から見える富士山を観ながら、「しずおかのおもてなし」を感じました。

北川 由紀子

## 歳末たすけ合い 運動事務協力



十一月十日（金）、総合福祉センターにて部員七名の出席で、各自治体に配布させて頂くチラシ等を種類

別に合わせ、束を作る作業を行いました。歳末の募金活動に多くの賛同が頂けるようお願いしながら皆、無心で作業を続け、間に少し休憩をはさみましたが、全員で効率良く分担して行うことで早く終わるようになりました。ご協力頂き、皆様ありがとうございました。

厚沢 得恵

## 多摩川クリーン作戦(秋)

十一月十二日（日）朝八時。今にも降り出しそうな空模様の下、多摩川クリーン作戦が開催されました。

調布市主催のこの行事は、河川の環境を守り美化を推進するため春と秋に行われ、私も出来る限り参加しています。

河川敷には各団体、自治会、少年野球チーム等が色とりどりのお揃いの上着で勢ぞろい。とても華やかでした。

開会式では、河川管理事務所の方から心に留めたいお話がありました。皆さんもご存じの『マイクロプラスチック汚染』です。上流から下流そして海へと流れ込んだプラスチックごみは、小さな破片となって海中の有害化学物質を取り込み小魚



の体内へ、そして食物連鎖で私たちの体内へも。恐ろしいことです。一見きれいな河川敷でしたが、「どんな小さなゴミでも拾うぞ!!」と探してみると、いつもより沢山のゴミを集められました。終わりに近づいた頃、何かチクチクするなど思ったら、子供の頃に友達とくっつけあって遊んだ種が裾にびっしり!! 又、真っ赤に染まった草紅葉にハッとさせられたりと、小さな秋を見つけた朝の多摩川河川敷でした。

石井 恭子

## 献血運動協力



今年の献血運動の協力は十二月十七日(日)に行われました。

調布駅前の広場です。寒いかなと思いつかり防寒対策をして伺いましたが、その日は三月上旬の気候でした。日曜日ということで人手は多く、学生・家族・カップルなど様々な方に献血の協力を呼びかけました。

私は初めての参加でしたが、「献血よろしくお願いします」という声が出ないですね。伝えるー難しいと思います。

一回に一時間程の時間、私は午前中が担当でしたが、予約の方が中心で当日の参加者が少なかったと思います。

ただ献血は必要と思っている方がいらつしやると感じました。小さな協力が大きな力になればと思います。

皆様お疲れ様でした。

佐藤 啓子

## 調布探訪第二十五弾 〜深大寺そばまつり〜

十二月二日(土)、この時期にしてはとても暖かい晴天のもと深大寺バス停に集合、深大寺は何度も訪れているにもかかわらず「そばまつり」は初めての参加でした。

境内に見物客が増えるなか「そば守観音供養祭」「そば献供式」が始まりました。深大寺の僧侶と深大寺そば組合の方がたで、とても荘厳な供養祭でした。あらためて深大寺そばの歴史の重みと、おそばへの思いを感じた時間でした。

さあ!いよいよ「そば巡り」の始まりです。早速参加店でお蕎麦を賞味。「美味しい!!」やはり深大寺のお蕎麦は違うなど、堪能いたしました。

深大寺界限、境内の物産展を巡りお土産品をたくさん抱えて、最後は深大寺境内の庫裡で「献上蕎麦」をいただきました。歴史ある庫裡でいただくお蕎麦は格別で、お蕎麦をし

めている水の冷たさに心が引き締まる思いでした。初めて参加した「深大寺そばまつり」。あらためて観る、食す、買うの揃った素晴らしい場所が有ることを再認識。大切な調布の財産として、今後他の商工会にもアピールしていければと思います。

美野 ひろ子



## 部員増強運動

厳しい経済環境の中、調布の事業者は互いに手を取り合いながら頑張っています。

調布市商工会女性部にとっても厳しい環境は例外ではなく、廃業などの理由から、平成十年度の二百三十六名をピークに減少の一途をたどり、本年度初めには百二十二名となりました。商工会女性部は互助の組織です。部員数の減少をこのまま許せば、支えあいの力を徐々に失い、女性部そのものだけではなく、歴代の女性部員が担ってきた調布の街の賑わい自体が活気を失ってしまうことになりかねません。未来に向けた女性部発展のため、新しい部員を広く募集し、女性部の輪を広げていくことを目的に、九月〜十二月の四か月間、地域振興委員会・正副部長会では部員増強運動に取り組みました。期間中に限れば、二名の入部が実現しました。

さらには、期間の内外を問わない皆様のご尽力により、本年度五名の新入部員を獲得することができました。女性部加入は随時受付をしていますので、ぜひご紹介いただき組織の活性化にご協力ください。連絡は事務局または地域振興委員まで

## 新年研修会 特殊詐欺に遭わないために



二〇二四年二月一日に調布警察署生活安全課の島田様に講演頂きました。

ポイントは三つです。

- ① 固定電話の線を抜く(固定電話は解約して使用しない事)これにはびっくりでした!
- ② スマホにかかってきた知らない番号からの電話には出ない(非通知、圏外、一桁の番号など)また、ショートメールも削除する事
- ③ 万一、電話に出てしまい話をする事になった時、途

中で「お金」「カード」「暗証番号」のキーワードがでたら無言で電話を切る事

固定電話の線を抜く行為について、特殊詐欺に遭った被害者の九割が固定電話からの通話との事でした。

しかしながら、仕事で使用している場合やFAX受信のために必要な多いと思いますので、ナンバーディスプレイを利用し、知り合いからの電話しか出ないなどの対応がいいのではないのでしょうか。

自分や家族、周りの方が被害に遭わないよう共有しましょう!

相田 悦子



## 編集後記

今年の元旦に能登半島地震により、大変な幕開けとなり、びっくりしました。たつくり三十九号が出来上がりました。

皆様には、お忙しい中原稿をお寄せいただきありがとうございますました。

これからも原稿をお願いすることがあるかと思いますが、その節は、よろしくお願いいたします。ありがとうございます。



広報委員 北川由紀子・美野ひろ子

桜井朝子・中島洋子

鈴木あゆみ・白井久美